

有道佐一 生きとし 生きるもの

令和7年

11月1日(土)

11月9日(日)

有道佐一と富士山 ふたたび

「自適館」の企画展第3弾は「有道佐一 生きとし生きるもの」です。
有道佐一には思わず引き込まれてしまう、目を瞠る作品ばかりではなく、
肩の力が抜けたユーモラスなほっと息をつけるような作品もあります。
小さな石ころひとつにも、そこに意味を見出した有道佐一。
今回は植物や生物などを描いた作品から佐一のやさしい眼差しや息遣い、
あるいは気骨などを読みとっていただければと思います。

そして、今夏開催した「有道佐一と富士山」ですが、
猛暑で外出を控えたので見られなくて残念だったというお声を
たくさん頂戴しましたので、規模を縮小して同時開催。
本邦初公開であった点描の「富士山」も再掲いたします。

日時

令和7年11月1日(土)～11月9日(日)
11:00～17:00(最終入館16:30)
最終日は15:00に閉館

※開館時間について上記時間以外をご希望の方はお問い合わせください。
ただし、すぐに対応できない場合もありますのでご了承ください。
☎090-1790-8478 蒲田正樹携帯 もしくはdon@mbd.ocn.ne.jp

場所

有道佐一記念ミュージアム『自適館』

京都府綾部市若松町24-5 「ことばの泉・ねじ文庫」内
※綾部市役所から西町アイタウン FMいかる方面徒歩1分、
稲場ふとん店正面

会場は急な階段がありバリアフリーではありません。
「有道佐一と富士山」については、今回は1階での展示となります

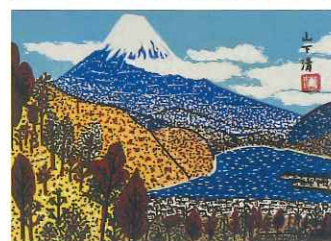
入館料
無料

運営維持費として
お志をお納めいただければ
幸いです



富士山いろいろ

葛飾北斎の「富嶽三十六景」をはじめ横山大観、片岡球子、梅原龍三郎、東山魁夷、山下清、最近では奈良美智、村上隆、海外ならゴッダなど、古今東西多くの画家が富士山を題材に作品を残しています。今回の「有道佐一と富士山展」でもこんな作家がこんな作風で富士山を描いているということがわかるコーナーを設けます。



場 所 綾部市若松町24-5 綾部市役所から徒歩1分。
稲場ふとん店正面。

開館時間 11:00～17:00 ☎090-1790-8478（蒲田正樹携帯）

パリ遊学中、現代アートの巨匠・ジャコメッティを一瞬にして虜にした有道佐一。

日本帰国後さまざまな誘いがあり、本人がその気になれば名声も地位も富も簡単に得られる状況にあったにもかかわらず、それを求めず、故郷、あやべ・山家の風景を描くことに没入した画家です。

有道佐一は作品を売らず手放すことはほとんどなかったといわれています。しかし、これは洋画（点描の油絵）にかぎっての話で、有道佐一はじつは洋画と日本画の二刀流の画家、日本画のほうには頼まれれば快く応じていました。ときにはお米や野菜と交換していたといい「家宝にするからといわれ渡したけれど、大根1本とはずいぶん安い家宝やなあ」と笑っていたこともあったそう。こんなエピソードからも佐一がお金にも地位、肩書などにも無頓着だったことがよくわかります。だからこそ綾部市内にはたくさんの有道佐一作品が現存しているのです。小学校や公会堂、お寺などに掛けられているもののなかには色褪せているものもあるのですが、お線香の香りなどがしみ込んで、薫習というのでしょうか、これはこれでいい味わいになっています。それだけ有道佐一が郷土に根付いた、郷土に愛された画家であるという証ともいえるでしょう。

有名画家が没後、自分の作品を故郷に寄贈されそれをベースに美術館ができるという例はたくさんありますが、当「自適館」は多くの市民の方が「わが家にもありますよ」と有道佐一作品を預けてくださり、いわば市民の方が主体になって展覧会を実施するものです。これは他所にはない、有道佐一だからこそ、あやべだからこそできる展覧会です。

綾部市制施行75年記念事業として、当「自適館」では「有道佐一作品と出合えるMAP」を作成することにしました。「自適館」はもちろんですが、有道作品と出合える場所がほかにもいくつかあり、その情報を皆様と共有するものです。そして、有道佐一作品と出合える場がさらに増えていければと願います。MAPづくりにご興味戴ける方はぜひご連絡ください。

090-1790-8478 蒲田正樹携帯
もしくはdon@mbd.ocn.ne.jp

世界に誇れる画家・有道佐一
作品と出合える場所、
MAPづくりに
ぜひご協力を！



志賀郷「真福寺」所蔵の龍と富士が描かれた額。



市内の「写真館」に掛けられている点描の作品「清流」。